

インサイダー vs アウトサイダー

響くメッセージの作り方

～Third Eye Writing Secrets～

今回のテーマ

- 今回は特別ミニセミナー
- あなたの人生ストーリーを響くメッセージにデザインする方法
- インサイダーvsアウトサイダー理論
- 4つのライティングの補足編
- ブログ、ニュースレター、レター、SNSどこでも使える

2つのストーリー

- 典型的に響きやすい「2つのストーリー」を解説
- “極し者”はインサイダーかアウトサイダーになる
- 極と極の間に読み手が存在するイメージ



インサイダーストーリー

- インサイダー（内部者）であることをメッセージのコアにする
- 典型的に売れるレターのパターンの1つ
- 内部告発レター（テーマの闇を暴く、テーマの健全化）
- 向いている人：そのテーマを愛し、長年携わっている人
- 地のライティング：実績、積み重ね、信頼
- 水のライティング：共感、一体感、応援
- インサイダーストーリーは地と水を意識すると伝わりやすい

インサイダーメッセージの 典型パターン解説

- 1 : 私は「テーマ」に長年携わっていて実績もあるが
残念ながら「内部告発」という問題がある
- 2 : あなたがうまくいかない理由＝内部告発
- 3 : 私はリスクを負って「解決策」を提案したい
- 4 : 私はこのテーマを愛しているし健全化したいので
あなたの力を貸して欲しい
- 読み手の障壁＝内部告発（テーマの問題、闇）
- 例：教育、ペット、英語、ビジネス、健康

アウトサイダーストーリー

- アウトサイダー（外部者）であることをメッセージのコアにする
- 実はあまり知られていないが、こっちのストーリーも使える
- 向いている人：ドロップアウト、変わった経験
- 火のライティング：独自性、未知のチャレンジ
- 風のライティング：新しい風、新しい切り口
- アウトサイダーストーリーは火と風を意識すると伝わりやすい

アウトサイダーメッセージの 典型パターン解説

- 1：私は「テーマ」に関して少し変わったストーリーがある
- 2：私はあなたと違う経験をしているからこそ「障壁」を越えるまったく新しい道を提示できる
- 3：この「テーマ」の内部事情を知らない外部者だからこそ新しい視点で新しい風を吹かせることができる
- 読み手の障壁＝予想外の道があること
- 例：教育、ペット、英語、健康、アウトサイダーアート

ミニワーク

- 1 : 人生ストーリーを「内」と「外」から考えてみる
- 2 : 誰もがどちらも人生で経験するストーリーである
- 3 : それぞれのストーリーを魅力的にデザインする

